

研究指導の概要

■ 社会工学学位プログラム

【課程：博士後期課程】

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
1 年 次	春	A	■ 指導教員・所属研究室の決定 ■ 研究実施 ：指導教員の指導の下で、研究テーマの決定と研究構想を議論する。 □ 指導教員と2名の副指導教員の指導のもと、博士論文に関する研究計画発表を行い、論文執筆までの見通しを得る。（科目名：社会工学博士特別演習I） ★ 達成度評価 ：指導教員による達成度評価を受ける。 ◆ 授業科目の受講 ：指導教員と相談の上で、自身にとって最も適切な科目を受講する。
		B	
		C	
	秋	A	
		B	
		C	
2 年 次	春	A	■ 研究実施 ：指導教員の指導の下で、研究を進める。 □ 研究実施（科目名：社会工学博士特別演習II） ：学会等において自ら口頭発表を行うことで、研究者として必要なプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身に付ける。 □ 指導教員と2名の副指導教員の指導のもと、博士論文に関する中間発表を行い、論文執筆までの見通しを得る。（科目名：社会工学博士特別演習III） □ 査読付き学術論文誌に投稿する論文を自ら執筆し、研究者として必要な論文執筆能力を身に付ける。（社会工学博士特別演習IV） ★ 達成度評価 ：指導教員による達成度評価を受ける。 ◆ 授業科目の受講 ：指導教員と相談の上で、自身にとって最も適切な科目を受講する。
		B	
		C	
	秋	A	
		B	
		C	

学年	学期 モジュール	研究内容及び指導方法等	
3 年 次	春	A	■ 研究実施 ：指導教員の指導の下で、研究を進める。。
		B	
		C	
	秋	A	■ 研究実施 ：指導教員の指導の下で、研究を進め、論文草稿の執筆の後、提出論文を完成させる。 □予備審査委員の同席のもと、博士論文における成果の見通しについて発表を行い、予備審査を受ける。（社会工学博士特別研究I） □論文審査委員の同席のもと、執筆した博士論文に関して最終発表を行い、最終試験を実施して本論文の審査を受ける。（社会工学博士特別研究II）
		B	
		C	